

# SDGs バッジでPR 県産ヒノキで障害者製作



SDGsをPRする木製のバッジ（大津市で）

障害福祉サービス事業所「れもん会社」（大津市平津）が、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」をPRする木製バッジを製作した。大津市の建設会社が依頼したことがき

「建」（大津市浜大津）が今年3月、SDGsを広くPRしようと、県産材を使ったバッジ製作をれもん会社に打診した。バッジは5月末に完成。木のカットやカラー塗布、金具の取り付けなど全ての工程をれもん会社で担い、200個を作成した。昭建の兼光喜一郎副社長は「満足な出来栄え。バッジで意識を高め、SDGsに社員一丸となって取り組みたい」と意気込んだ。一般販売価格は1個700円（税抜き）。売り上げは、障害者の給与に反映される。れもん会社の中にある「れもんのお店」で、販売するほか、企業などから受注も受け付ける。問い合わせは、れもん会社（077・537・0046）。

## 「SDGs」のバッジ製作 大津の障害福祉事業所



県産木材を活用し、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」のバッジを、障害福祉サービス事業所「れもん会社」（大津市平津2丁目）が製作した。写真。企業や一般向けに販売し「滋養でSDGs推進の機運を高めた」としている。

どがある利用者30人が東近江市永源寺地域産のひのき材をレーザー加工した。貧困解消などSDGsの17目標を

作。同社には5月末に200個を納めた。売り上げは利用者の給料に反映する。れもん会社を運営する社会福祉法人「湘南学園」（同市）の嶋川尚理事長（76）は「県内でSDGsに取り組み企業に購入してもらえれば」と話している。1個756円（税込み）で、受注生産が基本。れもん会社077（537）0046。（中塩路良平）

# 持続可能な開発目標 機運高めるバッジ開発 大津の福祉事業所



県産のヒノキ材を使ったSDGs バッジを手にする湘南学園の嶋川理事長＝滋賀県庁で

持続可能な開発目標（SDGs）を達成する機運を盛り上げようと、大津市平津の障害福祉サービス事業所「れもん会社」が、県産のヒノキ材を使ったSDGs バッジを開発した。木製バッジは、バイオ燃料の活用や太陽光発電事業などでSDGsに取り組み建設会社「昭建」（大津市浜大津）が提案。木材を使った家具や小物などを作っているれもん会社に、製作を依頼した。

作に取り組み、昭建の社員用に二百個を完成させた。バッジは直径約二・五センチの円形で、厚さ五ミリ。SDGsが目指す十七の目標を表す十七色を、扇状にプリントしている。

れもん会社を運営する社会福祉法人湘南学園の嶋川尚理事長は、四日に県庁で会見し、「木製バッジをつけることで、地産地消だけでなく、福祉活動にも貢献してもらえ。県内の企業の関係者につけてもらえれば」と話した。バッジは一つ七百元（税別）。受注生産が基本だが、れもん会社併設のショップ「れもんのお店」でも購入できる。れもん会社077（537）0046